



琉球

勝気

兄嫁

押しに弱くて♡

欲求不満







琉球

勝気

兄嫁

は

欲求不満

押しに弱くて





きやんほがみ
喜屋武穂神

兄貴が現地で
知り合って
結婚した嫁さん

仕事人間の兄の
どこに惹かれたの
わからないが
穂上さんの一目惚れ
だったらしい——



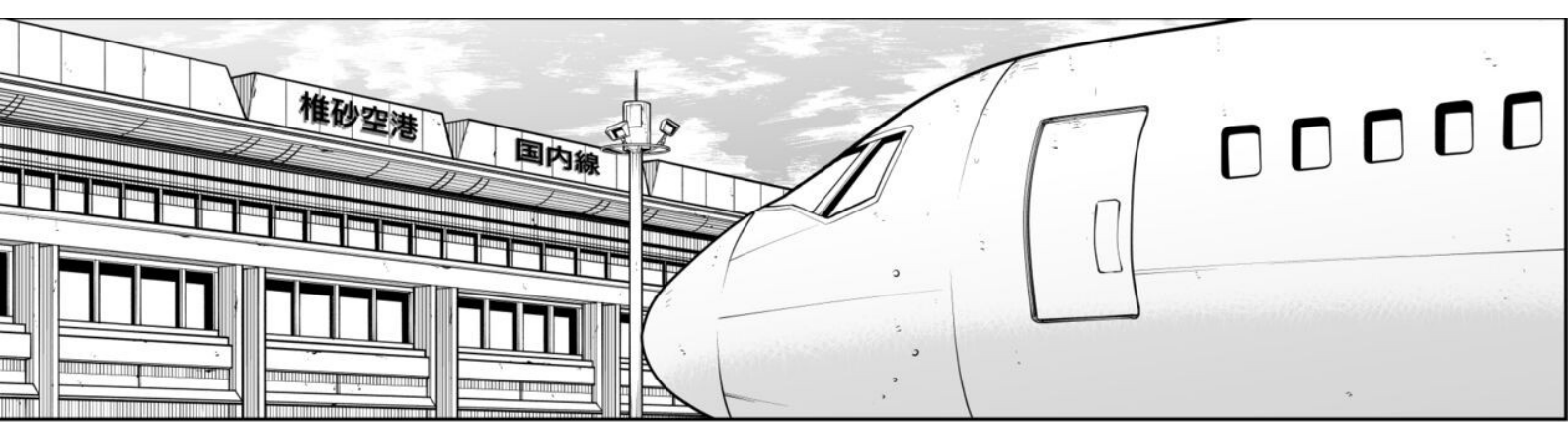
沖縄で民宿を
開業した兄貴の
招待で現地に家族で
向かうことになった——

ほら！
早くしろー！



ただの旅行なら
興味なかったのだが

足を運ぶ理由が
ひとつあった——



お義母さん！
こっちこっち！！

あっ！



やっぱ
めっちゃ好みだ…

久しぶりです！

マジで
兄貴には
もったいなえな…

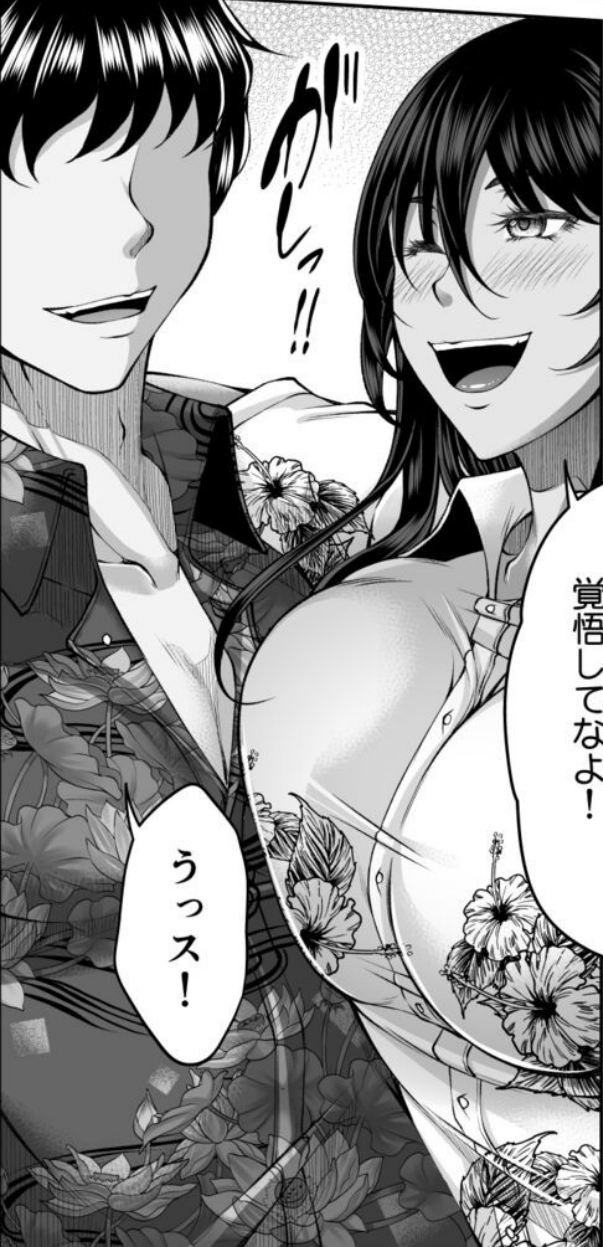
穂神ちゃんも
元気そうで
ぶかった！！



いえいえ
義姉さんの
為ならお安い
ご用ですよ！

冬真も
遠いところ
ありがとね！

がいゆし
似合ってるじゃん！



がしゅ！！

うっす！



ここにいる間は
全力でももてなし
してあげるから
覚悟してなよ！

あはは！
相変わらず
調子いいね！





ふう…まあ
たしかに
イイところだ…

独学でここまで
できれば
充分すげえや…



それに比べて
俺は…おっと

はは…一日中
義姉さんの
近くにいたから
荒ぶってら



湯冷ましがてら
ぶらぶらするか…



ここでヌいても
仕方ねえし…



声…?

ウツ



明かりが
ついでる…
みんな母屋に
いるんじゃない？

ここは…
離れか？

ウツ

ウツ



ん♡

ムクムク♡

ん♡

ムクムク♡

ムクムク♡

ん♡

ムクムク♡

ムクムク♡

ん♡

ッ!?

義姉さん!!
おいおい…
マジかよ



ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



んっ…っ♡
春明…っ

はっ♡
あっ♡
んっ♡

おちんぽっ…
ほしっ…♡
んっ♡

あっ…だめっ
イク…っ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡



いやあ…
すみません
明かりが気になって
覗いてみたら…

冬真——ッ!?

あっ…そのっ
これは
ちがうっ…

ちがうっ
まちがえてッ

ドキッ

ドキッ

ドキッ



義姉さん…
もしかして兄貴と
シてないんすか?

な…に言っ
て

——えっ!?



うんうん
それで…?

その…
だから…っ

つか…

つか…

つか…

つか…



ドキッ♡

おわっ♡

でも大きさが
春明と
全然違うっ♡

兄弟で
こんなに差が
あるものなの…!?

ドキッ♡

ドキッ♡

え…?
これ…冬真の
おちん…ほ!!

ドキッ♡



ほっ

んっ!!うんっ
全然っ何にもっ!

それより…その
そろそろ出て
もらっていいか…?

あ…あはは
スママセン…
失礼しました—



シヤ

どうかしました
義姉さん…?

ソコになにか
気になるモノでも?

シヤ

シヤ



そりゃない
でしょ義姉さん

きやう!!

—なんて



—ていうか
いいんすか?
このまま帰っても?

トキメク♡



離れでこそこそ
オナった後に
人のちんぽガン見
されちゃあ…

これで何も
しなかったら
逆に失礼っすよ

ちがッ…見てなっ

—ッ!!

グニッ♡

キムン♡

グニッ♡

グニッ♡

グニッ♡

グニッ♡

むにゅ♡



だからって…

どうせ数日後には
いなくなるん
だけ…?



兄貴は潰れて
寝ちゃってるし
お袋は親父の面倒で
部屋に戻ってる

いい加減にしてっ
戻らないと春明と
お義母さんたちが…



あ…ああっ

どうぞ…
義姉さんの好きな
ようにしてくれて
いいっすよ?



気にならない?
この中…





見たい！
勃たせたさ！♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

完全に勃つたら
どっなるの！

これで半分…

♡♡♡♡♡



♡♡♡♡♡

はっ♡

♡♡♡♡♡

義姉さんの
口のなか熱う…

♡♡♡♡♡

ん♡

♡♡♡♡♡

おっ！
ねっとり
フェラ！

んあ♡

♡♡♡♡♡



♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

はっ♡

冬真の雄の臭い
むせむせ濃厚♡

♡♡♡♡♡

久しぶりの
おちんぼの臭い♡

♡♡♡♡♡

頭は…ムシク
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



へへっ…義姉さん
タツバあるから
丁度いいっすね!

あっ♡

それじゃ
入れるっすよ
まんこに集中
してくださいね

ムム…♡

ほらっ
腰突き出して
龟头がまんこの
入り口に
着いたぜ…

なにこれ…
こんな所まで
届いちやうの!!

指でも春明でも
届かなかった
とこ…♡

まん肉掻き分けて
子宮まで行くぞ…

あっ♡

ムム…♡

ムム…♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡



そんな…こと
言われてもっ
からだ…勝手に♡

はははっ
俺のちんぽ
気に入ってもらえた
みたいでなによりだ

んっ♡
やっ…あっ!
違っ…あアッ♡



奥が反応
いいっスねー

ここまで
届くの初めて?
これじゃ今まで
もどかしかったっしょ



ひと突きするたび
膣壁うねって
締め付けエグイ

義姉さんっ
もうちょい
落ちついて…



んあっ♡
も…だめっ

冬真のちんぽ
スゴすぎて…っ
イっちゃあ♡



うおっ…義姉さん
膣壁が蠢いて…ッ

なっ…あっ♡
なん…でっ
腰っ…とまんないっ♡



あぁっ♡

だめ…なのっ
あん♡



はっ♡あっあ♡
なかは…タメっ—

くっ…くっちも
出さまじっ



あめ...あめ...
濃い...♡

残りの日も
たっぷり愉ませて
あげますよ義姉さん...

あ...♡

あーっのっ♡
かかっるっ♡

はっ♡

はっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

はっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡

あーっ♡



冬真っ…

…

はよーす
あ義姉さん
仕込みっスか？



翌日—



ああ…邪魔しない
ようにな

はよー兄貴
ちよつと仕込み
見せてもらうぜ

サッ

冬真
やつと起きたか



ってことで
義姉さん
失礼するっス

ちよつ
何考えてるの!?
春明がいるのにッ!

—!?

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



んっ♡
だからっ—

んっ♡

っても
義姉さんの声
デカいからなあ



ああ…大丈夫

兄貴は新聞
読む時は終わるまで
何も耳に
入らないから

んっ♡



なっ♡
の♡

んっ♡

ははっ
相変わらず
イイ声っスね



…っ♡
ばかっ…め♡

あっだめ♡
ソクっ…ん♡

はっ♡
すっ♡
すっ♡

んっ♡



うっうん！
ちよっと手が
滑っただけっ！

俺も見てるから
大丈夫だぜ
兄貴！

そうか



ん...？
どうした？



だからっ...んっ
いい加減にっ♡



おっ♡んう♡
お尻っ...だめっ
弱いっ♡♡♡



くっ...ちよっと
ヤバかったな

でも...
義姉さんの中
さっきより
締まってるぜ？





チヤッ...

仕込みは...
済んだ

ガキヤ

どうぞー

あれ？義姉さん
どうしたんスカ？
仕込みは
もういいんスカ？



それで俺になにか
用ッスカ？

へー...さすが

—ッ!

チヤッ♡

あんなことを
されて…

もう体の
疼きが抑え
られないんだ…

冬真の雄臭い
デカマラ…♥

あたしに
ぶち込んでっ♥♥

ぽあ♥

くくっ義姉さんの
頼みじゃ
断れないな

戻れなく
なっても責任
とらないっスよ

ん♥
あ♥
ん♥
あ♥

ぽん♥
あ♥

あっ♥
ん♥

ん♥
あ♥



子宮っ…
押し上げられて
体が悦んでるっ♡

きたあ♡
これっ…
欲しかったのっ♡

はっ…あっ♡
冬真っ動いてっ



そんじゃ
今度は遠慮
しないからなっ



うおっ!
まんこの締め付け
ヤバっ

はっ…あぁっ♡

キゅゅゅゅっ♡

はっ…あぁっ♡





へっ…？



そんなこと
言っても
義姉さん…

これじゃ離れ
られないぜ？

ちりっ♡

きゅん♡

まゅん♡



なかは…
なかはだめっ！

ちりっ♡



バチクソ濃いのが
たっぷり射精すぜ

義姉さんの
本心はわかって
っから

あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡
ためえ♡

あっ♡あっ♡

あっ♡あっ♡



やっ…ちがっ
これはっ違っ…

ちりっ♡

あっ♡あっ♡

おーけー
おーけー

あっ♡あっ♡



あっ♡あっ♡
だめっ…体が
準備しちやうてる

おほっ♡

おほっ♡
おほっ♡

赤ちゃん
作る準備
しちやうてる♡

おほっ♡

おほっ♡



あっ♡あっ♡
子宮が子種
欲しがってる♡

いま中出し
されたら精子から
逃げられない♡

おっ♡

あっ♡

あっ♡

おっ♡

おっ♡



ほっ
ほかっ
びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ
びゅんっ
びゅんっ

びゅんっ
びゅんっ
びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ
びゅんっ
びゅんっ

びゅんっ

子種注がれてっ
体ぜんぶイッてるっ
あっ…まだツイヘン
びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ
びゅんっ
びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ

びゅんっ
びゅんっ
びゅんっ

子宮っ
重たんなっ
びゅんっ





義姉さんからの
おもてなし…
愉しかったっすよ…

あ…ああ…♡



いやー最高…

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ…♡

この^{からだ}肢体と
しばらくお別れ
なのが残念だ…

あ♡

あ♡



おはよう春明...

ふあ...
おはよう穂神

あ...



はっ...あっ!!

キン
キン

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

あの時の事は
記憶がおぼろげで

冬真たちが帰ると
いつもの日常に
もどった...

罪悪感から
あの後すぐに春明を
求めた...けど
体は満たされなかつた



ガキヤ...

はあ...
早く忘れないと...

おはよつす
義姉さん



とんっ♡

あっ…あ…

そ…んな…

とんっ♡



—ッ!?

にゃ

にゃ

冬真っ…
どっして!?



ああ…前に
うちに招待してから
経営学びたいって
いうんでな

しばらく住み込みで
世話するから
面倒みてやってくれ



義姉さん…

またよろしく
お願いします

しゃわっ♡

しゃわっ♡

あとがき

はじめまして、またはお久しぶりです
杜若かなえです。

今回歴代No1クラスにパツパツの
スケジュールで進行しています！
あとがきを書く時間すら危ういのは
初めてかもしれません。

その分、内容はがっつりボリュームに
出来たと思いますので
お楽しみ頂けたら幸いです！

それでは、これから
二冊目の制作に移ります！
無事発行出来ていたら
またそちらでッ！

2023年12月某日

杜若かなえ 拝





奥付

発行誌

『琉球勝気兄嫁は押しに弱くて欲求不満』

発行日

2023年12月31日(C103・二日目)

連絡

ddd1341@gmail.com

作品の無断転載、複製および無断アップロード厳禁

Unauthorized reproduction, duplication,
and uploading of works is strictly prohibited.